

## WOWの樹 さくさべ 児童発達支援自己評価表

公表：令和 6年 4月 15日

|          |   | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点                                   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                 |
|----------|---|---|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備  | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | ○  |     | 法定基準を満たしており開放感を感じられるようにレイアウトを考えている。       |  |
|          | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか   | ○  |     | 児童の特性に合わせて職員を適正に配置している。                   | 研修などの機会を増やし、日々スキルを向上させていく                |
|          | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | ○  |     | 特性に応じて絵カードなどを表示して伝えている                    |  |
|          | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | ○  |     | 日々の清掃・消毒を徹底している。                          |  |
| 業務改善     | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | ○  |     | 申し送りや日報を活用している。                           | 出勤日数が少ない職員にも徹底出来るか確認が必要。                 |
|          | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | ○  |     | アンケートを配布して意向を確認する。                        | 保護者等の意向を職員間で共有し、業務改善をしていく                |
|          | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | ○  |     | ホームページで公開している。                            |  |
|          | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   |    | ○   |   | 第三者による外部評価がしていない。                        |
|          | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○  |     |   | オンライン研修サービスの活用を全職員に外部研修の充実を徹底していく、       |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |     | 日々の活動内容を記録している。                           |  |
|          | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |     |   |  |
|          | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○  |     | 児童の発達状況や保護者の意向を受け身辺自立支援や就学に向けての相談など行っている。 | 「家族支援」につながる支援の頻度を上げたい。「地域支援」について改善すべきと思う |
|          | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |     |   | 統一できるよう心掛けが常に必要                          |
|          | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   |    | ○   | 半年又は週毎に立案を行っている                           | 主メンバーで立案を行い、他の職員への共有を行っている               |

|                          |  | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点                                | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                       |
|--------------------------|--|--|----|-----|--|--|
|                          | ⑮  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  | ○  |     | 情報を色々取り入れて工夫している                       |  |
|                          | ⑯  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか                              | ○  |     |  |  |
|                          | ⑰  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                              |    | ○   | 口頭で説明、ホワイトボード・日報に記入したものを個々に確認している。     | 打ち合せて共有はしているが、送迎に出ている職員もいて全員が開始前に必ずとはいえないことがある |
|                          | ⑱  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                         | ○  |     | 口頭での情報共有の他、日報で個別に気付いた点など記入し振り返りに活用している |  |
|                          | ⑲  | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  | ○  |     | 日報、連絡帳、職員間での連絡帳にて                      |  |
|                          | ⑳  | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか                                       | ○  |     |  |  |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                           | ○  |     |  |  |
|                          | ㉒  | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか                                       | ○  |     |  |  |
|                          | ㉓  | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか |    |     |  | 対象となる児童がいない。                                   |
|                          | ㉔  | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             |    |     |  | 対象となる児童がいない。                                   |
|                          | ㉕  | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか               | ○  |     | 保護者と相談の上、運動会での様子を見て先生と情報共有している         | 全ての子供の移行支援はできないが、保護者の意向に沿って行う                  |
|                          | ㉖  | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                           | ○  |     |  | 学校との情報共有を強化していきたい。                             |
|                          | ㉗  | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                    |    | ○   |  | 一部機関との連携はあり、情報共有や助言も受けているが、連携を強化していきたい         |
|                          | ㉘  | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                     |    | ○   |  |  |
| ㉙                        | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか |  | ○  |     |  |  |

|            |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                |
|------------|----|---|----|-----|---|---|
|            | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | ○  |     | 日々の療育後のお迎え時、モニタリング時に共通理解を深めるよう努めている           |   |
|            | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか   | ○  |     | 面談時や保護者からの相談、送迎時の保護者との会話の中で問題点の対応の仕方を話し合っている。 |   |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○  |     | 契約時に説明を行っている。                                 |   |
|            | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○  |     | 面談モニタリングなどを行い年2回支援計画を作成して保護者から同意を得ている。        |   |
|            | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○  |     | 定期的なモニタリングの他に送迎時や電話などで相談助言を行っている。             |   |
|            | ③⑮ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   |    | ○   |   |   |
|            | ③⑯ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                         | ○  |     | 相談や申し入れについては迅速な対応を心掛けている                      |   |
|            | ③⑰ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   |    | ○   | 長期休みなど行事のお知らせを手紙で配布している。                      | 定期的に行えていない。<br>保護者との共有アプリでの情報発信を見発でも検討中 |
|            | ③⑱ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○  |     |   |   |
|            | ③⑲ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○  |     |   |   |
|            | ④① | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |    | ○   |   |   |
|            | ④② | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | ○  |     |   |   |

|         | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点                                    | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|--|----|-----|--|--------------------------|
| 非常時等の対応 | ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○  |     |  |                          |
|         | ④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○  |     |  |                          |
|         | ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | ○  |     | 保護者より聞き取り、個人ファイルだけでなく職員の目にとまりやすい場所に貼りだしている |                          |
|         | ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○  |     | ヒヤリハット事例を貼り出し連絡ノートに記載して職員に周知している。          |                          |
|         | ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○  |     | 短時間で受けられる研修サービスを導入し虐待防止の意識を高めている           |                          |
|         | ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○  |     |  | 身体拘束は行っていない。             |